

独立行政法人国立科学博物館

1

セミナー開催の目的

国立科学博物館の職員を対象に、公的年金・医療保険制度に関する基本知識を習得するとともに、生涯にわたる経済生活設計の必要性に気づき、退職後の生涯生活設計に役立てることを目的として、「退職準備型セミナー」を開催しました。

退職を5年以内に控えた職員を主対象とした内容ではありますが、参加可能な職員が限られてしまうことから、対象者の枠を広げ、40歳～65歳までの職員を対象に実施しました。実施にあたっては、セミナー運営の実績が豊富な教職員生涯福祉財団に講師派遣やカリキュラム作成を依頼しました。

2

セミナーの実施内容

[退職準備型セミナー]

- 開催日** / 令和4年12月9日(金)
- 会場** / 国立科学博物館上野本館講堂
(筑波地区及び白金台地区にオンライン同時配信)
- 参加人数** / 40人
- 対象者** / 常勤職員(事務、研究)
- 日程** /
- 9:30～10:00 受付・開会
 - 10:00～10:40 「健康・生きがい」に関する講義
(講師: シニア産業カウンセラー/キャリアコンサルタント)
 - 10:40～10:45 休憩
 - 10:45～11:35 「公的年金・医療保険」に関する講義
(講師: 社会保険労務士)
 - 11:35～11:40 休憩
 - 11:40～12:30 「経済生活」に関する講義
(講師: ファイナンシャルプランナー)

3

工夫した点

なるべく多くの職員に参加してもらえようメイン会場となる東京・上野地区での対面開催と筑波地区及び白金台地区へのオンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施しました。

また、セミナー時間を半日に凝縮することで、業務多忙な職員でも時間を確保しやすい日程で実施することができました。



独立行政法人国立科学博物館では、
職員を対象に教職員等の退職後の生涯生活設計の準備の一助として、
生涯生活設計セミナー（退職準備型）を実施しています。



4

参加者の反応

終了後のアンケートでは、「全体的な話をまとめて聞く機会がなかったので参考になった」「定年間近なので、退職後の準備も進んでいた中での受講となり、セミナー内容は参考になった」「生涯設計の参考にしたい」など、あらためて退職後の生活設計について見直す機会になったようです。

また、今回得た知識の活用については、「投資に税制優遇があることを知ったのでもう少し調べてみたいと思った」「経済面を整理し、退職後の生活をイメージすることに取り組みたい」「セミナーで知った内容をより詳しく調べてみる」「まずは経済生活設計表（プラン）を作成し、関連資料を集めたい」との感想が寄せられ、各自の課題把握や新たな気づきが得られた印象を受けました。

5

今後の課題

コロナ禍を経て、eラーニングによる研修が多い中、より効果的な受講となるようハイブリッド形式での開催としましたが、遠隔地では音声が不明瞭な部分もあったとの意見が寄せられ、今後の開催方法については検討が必要であると感じました。

また、セミナー内容については、内容の多さに対して時間が短いとの感想もいただいたため、事前アンケートで受講者のニーズを集め、関心の高い分野（社会保障制度全般、介護、相続、NISAなど）にテーマを絞って企画するなど、より充実した内容を的確に届けることで、満足度を高められるのではないかと考えています。今後は、若年層へも対象を拡大し、幅広い世代の職員にとって心豊かで実りある人生が実現できるよう、サポートしていきたいです。

（国立科学博物館経営管理部総務課 登島 志穂）

